

2022年6月1日

APEV 技術委員会ウェビナー 第5回 開催報告

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
代表理事 田嶋 伸博
技術委員会 担当理事 佐藤 員暢
草加 浩平

皆様には平素より弊会の活動にご協力賜り心よりお礼申し上げます。
弊会の技術委員会は2021年度からWebにより会員の皆様に情報提供を行う事といたしました。
2022年度もその第5回として下記の講演をウェビナーで行いましたのでご報告いたします。

- 開催日時: 2022年5月27日(金)13時30分~15時18分
- 開催場所: マイクロソフト Teams によるウェビナー
- プログラム:
 - 13:30~3分間 開会宣言
 - 13:33~40分間 「新時代の電気自動車 日産アリアの開発」
日産自動車(株)Nissan 第一製品開発部第一プロジェクト統括グループ
車両開発主管(CVE) 中嶋 光氏*1
 - 14:13~3分間 代表理事 田嶋 伸博 挨拶
 - 14:16~7分間 上記に対する Q&A
 - 14:23~2分間 休憩
 - 14:25~40分間 「『EDA(Event Drive Architecture)を活用した、EV インフラの共有やサービス向上について』~
VANTIQ プラットフォームの紹介 ~」
Vantiq(株) 代表取締役社長、日本 MIT ベンチャーフォーラム メンター 川北 潤氏*2
 - 15:05~5分間 上記に対する Q&A
 - 15:10~ 5分間 技術委員会担当理事 草加 浩平 挨拶
 - 15:15~ 3分間 閉会宣言/集合写真

【講師略歴】

★中嶋 光氏*1 Hikaru Nakajima

- 1988年 日産自動車(株) 入社 シャシー開発本部 エキゾーストシステム開発 (BLUEBIRD) 担当
- 1996年 同 サスペンションシステム開発 (ALTIMA/SKYLINE) 担当
- 2006年 シャシー開発本部 主担 サスペンションシステム (FUGA) / サスペンションメンバーリンクシステム開発担当
- 2011年 東風汽車有限公司(中国) 赴任 シャシー開発全般、燃料システム、HVACシステム、シフトコントロールシステム担当
- 2015年 シャシー開発本部 主管 ブレーキシステム開発担当
- 2016年 シャシー開発本部 チーフシャシーエンジニア シャシー開発全般 (SYLPHY/FF車) 担当
- 2018年 現職 ARIYA 車両開発主管(CVE)



日産自動車(株) 中嶋 光 氏

★川北 潤氏*2 Jun Kawakita

1984年 中央大学 商学部 会計学科卒

1985年 アンガマン・バス株式会社(米国 Ungermann-Bass, Inc.の日本子会)入社

1989年 ネットワンシステムズ株式会社

(Ungermann-Bass と三菱商事の合併)へ移籍

1994年 MVP 株式会社(現・セイムクリック株式会社)設立、
代表取締役就任(現任)

2014年 アライドテレシス株式会社 取締役

2016年 同社 専務取締役

2018年 11月 Vantiq Inc. 日本セールス&マーケティング代表

2019年 12月 Vantiq 株式会社 代表取締役社長(現任)

2020年 8月 日本 MIT ベンチャーフォーラム メンター(現任)



Vantiq(株)川北 潤氏

■ご出席者【企業・団体】アイウエオ順

愛三工業(株)、Vantiq(株)、(株)オーガス総研、岡山科学技術専門学校、NPO 法人北九環浄研、CBC(株)、ジオノート・九州(株)、住友電気工業(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、日産自動車(株)、日本バース(株)、日本パナトニック(株)、日野自動車(株)、日吉回漕店(株)、丸紅(株)、マルヤス工業(株)

■内容:

◎講演 1「新時代の電気自動車 日産アリアの開発」

日産自動車(株)Nissan 第一製品開発部第一プロジェクト統括グループ 車両開発主管(CVE) 中嶋 光様から下記内容をスライドで説明があり、その後活発な質疑応答があった。この発表資料は、公開不可との事です。

- ・ アリアの商品バリエーション
- ・ アリアの目指したもの:クルマの未来を感じる新時代のフラッグシップ
ラウンジのようなくつろぎ空間
乗る人すべてが感動する走行性能
移動時間も楽しみに変える先進機能
- ・ 主要要素技術:
モータールーム置き空調ユニット/巻線磁界式モーターで自在な磁力コントロール/透過型スイッチ/e-4ORCE (4WD 制御+シャシー制御+電動化)/バッテリー温調/シームレスにつなぐコネクテッド/運転支援:プロパイロット 2.0&リモートパーキング



◎代表理事 田嶋 伸博 挨拶

日産のプレゼンテーションは、「EV がここまで成長発展したのか！」とワクワクドキドキであり、夢のあるお話に感謝します。モータースポーツをやってきた自分としては、是非 E4ORCE のアリアに試乗したいので、その節はよろしくお願ひしたい。



◎講演 2『EDA (Event Drive Architecture)を活用した、EV インフラの共有やサービス向上について』～ VANTIQ プラットフォームの紹介 ～

Vantiq(株) 代表取締役社長 川北 潤様からスライドで下記の説明があり、その後質疑応答があった。

この講演ビデオと発表資料は APEV 会員専用 SNS で公開します。

- EDA 出現の背景
- EDA の実施例:ダイナミックに変化する(充電)ステーション満空情報と(EV)ユーザーのマッチング
- EDA の仕組みと新たな課題
- 一般的な EDA と Vantiq の比較
- Vantiq の特徴
- Vantiq のスケーラビリティと耐障害性
- Vantiq の導入事例の特徴

Vantiqの導入事例の特徴 4要素に対応可能

AI: 画像認識や検出・例外処理・需要予測
IoTデバイス・通信回線 4G 5G
業務システムデータベース
Webサービス
人: 適切な担当者

ダイナミック
イベントドリブン
スタティック
データドリブン
サービスドリブン
コラボレーション

Vantiq Platform (=リアルタイムアプリケーション開発・実行プラットフォーム)

Event Bus + Rule Action Workflow

Edge Cloud

Vantiqとは、ダイナミックデータ、スタティックデータ、Webサービス、人的リソースとコラボレーション、これらを連携させてビジネスロジックを完結するオールインワン型アプリケーション開発・実行プラットフォーム

VANTIQ

15

Jun Kawakita

+43

安

◎技術委員会担当理事 草加 浩平 挨拶

本日ご参加の皆様及び中嶋様・川北様にお礼を申し上げます。

日産の中嶋様の講演には更に質問があったかもしれないが、時間の関係で全て伺えなくて申し訳なかった。

Vantiq 川北様の講演は、事例として挙げられていた EV 充電ポイントの案内では有効だと思う。アリアの講演でもドライブプランの話があったが、自動車メーカーのシステムと連携する事を期待したい。

技術委員会は今年度ウェビナーを4回(今回・7月・11月・2023年2月)計画しています。次回7月の講演内容はほぼ決まっていますが、11月以降は検討中ですので、自薦他薦をお待ちしています。





最後に記念写真

以上

※一般社団法人 電気自動車普及協会では、引き続き会員を募集しております。

●トップページ <https://www.apev.jp/>

●入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>

●正会員(企業向け):年会費 1口10万円

賛助会員(個人向け):年会費 1口1万円

特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け):年会費 無料

お問い合わせ：一般社団法人 電気自動車普及協会（APEV） 技術委員会 事務局

〒153-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール

TEL：050-3375-4937 FAX：050-3153-2686 E-mail：info@apev.jp Website：<https://www.apev.jp/>